

未来へ(東中だより)

第8号 令和4年7月20日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ

「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/>

自分で考える 夏休みに 終業式

今日は 1学期の終業式でした。明日からの夏休みを前に、式の中で以下のような話をしました。(一部抜粋)

今年は戦後77年です。沖縄の復帰から50年の節目の年です。そういう年に改めて平和について考えることは、大変意義のあることでしょう。折しもこの年に、ウクライナの地では侵攻が勃発し、多くの市民が犠牲を強いられています。佐賀県にもウクライナからの避難者が身を寄せられました。先日本校で講演してもらった西野さんは、大学院に進んで「世界平和」「紛争抑止」について学んでいるとのこと。旅での経験が、その道へ進むきっかけとなったのだろうと推測します。この20年ほど、人や物の世界的な交流が深まり「世界のグローバル化」が進みました。グローバル化が進めば、世界の人々は仲良く協力し合って、世界は平和になるという期待が寄せられていました。しかし、実際はそう簡単なものではないことがわかりました。

なぜ紛争が起きるのか。原因は様々です。地理的な問題、軍事戦略的な問題、貿易や経済上のトラブル、民族や宗教の無理解、それに政治的リーダーの考え、国内世論などが考えられます。つまり、グローバルな人材が育っているが、大多数がローカルに生きている事実があるからです。自国やふるさとを誇りに思う心は大切ですが、自分のことや自国を第一にする考えを主張し過ぎれば、他者や他国とのトラブルは避けられないと思います。そのことは、生徒の皆さんも教室や部活動の場で学んできたことでしょう。

夏休みには8月15日の終戦記念日がやってきます。登校日には平和について考える機会もあります。様々な機会を通して、人間同士や国同士がどうしたら円滑な関係を築くことができるか、自分なりに考えてみましょう。

また、夏休みは自分で自由に使える時間が増えます。自分の中のリーダーシップを発揮して、「自律的な時間」を過ごしてください。「G...学力高める 時間の管理」をモットーに行動しましょう。

そして、8月25日の始業式には、全員が健康で登校することを願っています。



授業の視察や訪問

6月後半から7月は、多くの授業視察や学校訪問がありました。

特に英語については、6月30日の朝倉市の英語の先生方の視察に続き、7月8日には県内の英語の先生方が、英語科におけるICTの活用や表現力の育成のモデルとして吉田教諭の授業を参観されました。

7月5日の数学科安武教諭の研究授業、12日の国語科宮崎教諭の研究授業、さらに14日の町教育委員会学校訪問と続きましたが、どの授業でも参観の先生方からは、**授業の工夫のみならず、生徒がしっかりと学習に取り組んでいる姿勢が、高く評価**されていました。

生徒の皆さんには、「**伸びる東中**」の生徒である誇りと自信を持って、今後も授業に取り組んでほしいと願っています。



☆今後の予定☆

- 7/20(水) 終業式
- 7/23(土)~25(月) 県中学校総合体育大会
- 7/26(火)~29(金) 二者面談・三者面談
- 8/4(木)~5(金) JRCリーダートレセン2年参加
- 8/5(金) 1, 2年学年登校日 3年学習会
- 8/9(火)~15(月) 学校閉庁日
- 8/18(木) 3年学習会
- 8/19(金) 3年学習会
- 8/20(土) PTA除草作業
- 8/22(月) 3年学習会
- 8/23(火) 吉野ヶ里町子ども議会 3年SAGAテスト
- 8/24(水) 3年SAGAテスト
- 8/25(木) 2学期始業式

